

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点                | 4年間の目標<br>(令和2年度策定)  | 1年間の目標   | 取組の内容  |   | 校内評価  |  | 学校関係者評価<br>(3月14日実施)  | 総合評価<br>(3月29日実施)  |   |
|-------------------|--|--|--|---|---|--|---|--|---|
|                   |  |  | 具体的な方策   | 評価の観点   | 達成状況  | 課題・改善方策等   |   | 成果と課題  | 改善方策等   |
| 1<br>教育課程<br>学習指導 | <p>①基礎学力の定着を図る「学び直しから」、自ら考え判断し表現する力までを育み、普通科と美術科が相互に刺激し高め合う教育課程を編成、実施する。</p> <p>②「育みたい生徒像」を実現し、個に応じた学力を育成するためのICT活用を進め、組織的な授業改善を行う。</p> <p>③学校行事等とおして協働する力を育む。</p> | <p>①確かな学力の定着と教育の「質」を高める授業改善を進める。</p> <p>②一人一台端末に対応した授業方法を発展させる。</p> <p>②図書館の利用を促し、生徒の読書活動を推進する。</p> <p>③体育祭、文化祭、球技大会、生徒総会等の各行事について、生徒が主体的に企画運営できるように支援する。また、生徒が積極的に参加できるようにつとめる。</p>                           | <p>①評価と指導の一体化を意識した授業を行う。</p> <p>②研修会などICT環境の利用に関する情報発信を行う。</p> <p>②図書館と教科の連絡を密にし、生徒が活字に親しむ機会を増やす。</p> <p>③生徒会本部役員や各種委員会の生徒と積極的にコミュニケーションを取り、生徒の発想をくんだ行事の企画運営を行う。</p>   | <p>①単元ごとの評価を円滑に行えたか。</p> <p>②端末を効果的に利用した学習活動が行えたか。</p> <p>②図書館の利用機会が増加したか。</p> <p>③生徒会本部や委員会において生徒全体のニーズや要望に応えた活動ができたか。また、活動を通じて生徒自身が達成感を感じることができたか。</p> <p>③学校行事への参加率や生徒の達成感、満足感を高めることができたか。</p>                   | <p>①単元ごとの評価を円滑に行えた。</p> <p>②殆どの教科で端末を利用した学習活動が行えた。</p> <p>②図書館の授業利用の件数が増加した。</p> <p>③生徒会本部や各種委員会の生徒意見をとり入れ、行事への参加率や満足感を高めることができた。</p>   | <p>①インクルーシブ教育開始に備え、一層の授業改善を意識する。</p> <p>②端末使用の効果に対して検証を重ねる。</p> <p>②図書館の個人利用増加を目指す。</p> <p>③行事における生徒の欠席を少なくし、参加率を高める。</p>  | <p>②小中学校での実践を踏まえながら、積極的にICT端末の活用を行ってほしい。</p>  | <p>○単元ごとの評価を円滑に行えた。</p> <p>○殆どの教科で端末を利用した学習活動が行えた。</p> <p>○図書館の授業利用の件数が増加した。</p> <p>○生徒会本部や各種委員会の生徒意見をとり入れ、行事への参加率や満足感を高めることができた。</p>  | <p>○インクルーシブ教育の推進を踏まえ、個々に応じた評価を意識し、授業改善を進めていく。</p> <p>○端末の効果的な使用に対して検証を重ね研修を行う。</p> <p>○授業等で図書館を利用させることで読書に興味を持たせ、個人利用増加を目指す。</p> <p>○行事への参加率や満足感を高めるよう、積極的にコミュニケーションを説明や指導をすることで</p>  |
| 2<br>生徒指導・支援      | <p>①他者を認める寛容の精神と自らを律することができる自己管理能力を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりの課題に対するきめ細かな教育相談体制を充実・発展させる。</p> <p>③部活動やボランティア活動等とおして豊かな人間性や社会性を育てる。</p>                                   | <p>①ルール・マナー指導を徹底し、すべての生徒が充実した生活を送れる安全、安心な学校づくりを推進する。</p> <p>②生徒一人ひとりに寄り添う組織的な生徒支援と教育相談体制の充実、発展を図る。</p> <p>③部活動への関心を高め、加入率の向上および部活動の活性化を図る。</p> <p>③部活動・ボランティア活動とおして、充実した学校生活を感じ、ボランティア精神、モラルを大切にする生徒を育成する。</p> | <p>①問題行動の未然防止、いじめ未然防止と早期発見「白山高校ソーシャルメディアポリシー」に基づくSNS等に関する指導を徹底する。</p> <p>①服装、頭髪などのルール、授業中、登下校時のマナー(遅刻指導を含む)に関する指導を充実する。</p> <p>②多角的に生徒情報を収集、共有し、適切な問題把握と対策を検討する。また、必要に応じて外部専門機関と効果的に連携する。</p> <p>③部活動参加のための勧誘・広報活動等を充実させ、新入生の部活動への興味関心を高め、加入率高める。</p> <p>③学校や近隣地域などのボランティア</p> | <p>①問題行動の減少と軽微化がはかれたか。</p> <p>①生徒が自らルール・マナーを遵守して行動する自己管理能力を身につけたか。</p> <p>②支援を必要とする生徒の正確な把握とそれに対する適切な支援を策定することができたか。</p> <p>②適切に外部専門機関を活用することができたか。</p> <p>③部活動加入率や満足度は向上したか。</p> <p>③ボランティア活動を行う機会を増やすことができたか。</p> | <p>①問題行動の未然防止については学年ごとに生徒指導体制を整えることで強化してきた。服装・頭髪に関しても生徒たちは指導によく乗っていた。</p> <p>②サポートドックからの聞き取りなどもありSC、SSWとの連携が活発化した。悩みを抱えた生徒の対応もほぼ解決に至っている。</p> <p>③部活動の加入率について、例年と比較し多少の増加は見られた</p> <p>④白山高校夏季ボランティアなどにより生徒が活動を実施する機会え、参加する生徒も増えた。</p> | <p>①問題行動については未然防止の方向で続けていきたい。</p> <p>①モラル・マナーについては自己中心的な生徒も多いのでルールを遵守する規範意識の向上をめざしたい。</p> <p>③部活動の仮入部期間等を設け、さらに部活動加入率の向上を目指す。</p> <p>④夏季ボランティアなどを通してさらなる生徒の活動機会を増やす。</p> | <p>①数十年前に比べると生徒のマナーは向上しているように思える。これからも粘り強く生徒を指導して行ってほしい。</p> <p>①自転車の正しい運転について、危険を感じており、地域、PTA等と連携して安全指導を行ってほしい。</p> <p>④夏季ボランティア等に協力していきたいので、地域の施設等を活用してほしい。</p> | <p>○問題行動の未然防止について、各学年で生徒指導体制を整えることで強化した。</p> <p>○サポートドックからの聞き取りなどもありSC、SSWとの連携が活発化した。悩みを抱えた生徒の対応もほぼ解決に至っている。</p> <p>○部活動の加入率について、例年と比較し多少の増加は見られた</p> <p>○白山高校夏季ボランティアなどにより生徒が活動を実施する機会え、参加する生徒も増えた。</p> | <p>○SNSに関する問題行動は依然として多く、外部関係団体や保護者等と連携し指導を徹底する。</p> <p>○モラル、マナーの向上を目指し、地域や保護者等と連携し指導を進めていく。</p> <p>○SC、SSWと連携し、生徒の課題解決に向けて具体的な支援方法を構築する。</p> <p>○地域の施設や企業と連携し社会体験やボランティア等の機会を増やす。</p> |

| 視点 | 4年間の目標<br>(令和2年度策定) | 1年間の目標  | 取組の内容   |   | 校内評価   |   | 学校関係者評価<br>(3月14日実施)  | 総合評価<br>(3月29日実施)  |  |  |
|----|---------------------|---|---|---|--|---|---|--|--|--|
|    |                     |   | 具体的な方策  | 評価の観点   | 達成状況   | 課題・改善方策等  |   | 成果と課題  | 改善方策等  |  |
|    |                     |   |   | 活動や部活動等でのボランティアを紹介・支援し自発的な参加を促す。  |  |   |   |  |  |  |
| 3  | 進路指導・支援             | <p>①「夢・目標ここで未来を見つけよう」をスローガンに、高い志を持って目標に向かい努力することによって自己実現を図る。</p> <p>②美術科の専門性を生かした進路実現を支援する。</p>                       | <p>①総合的な探究の時間を有効に活用し、生徒の主体的な活動を促す。</p> <p>①アセスメントテスト（基礎力診断テスト）の結果を活用し、自己有用感の発達を促す。</p> <p>①②進路実現に向けた前向きな態度を養う。</p>  | <p>①総合的な探究の時間を有効に生かせるようアップデートする。</p> <p>①進路適性テストを活用し、自己の能力・適性等の理解を深める。</p> <p>②個々の特性や専門性をふまえ、インターンシップ等の体験活動を有効活用する。</p>   | <p>①総合的な探究の時間の授業評価や進路選択が円滑に行えたか。</p> <p>②インターンシップ等の体験活動に積極的に参加するなど、進路実現に向けた前向きな取組ができたか。</p>  | <p>①総合的な探究の時間は円滑な取組みができた。進路選択は例年と比較し、難航することがあった。</p> <p>②インターンシップ等の体験活動への参加はコロナ前まで回復していない。</p>  | <p>①自然と次のステップへ進むような雰囲気づくりに取り組む。</p> <p>②新しい取り組みに挑戦する機会を増やし、積極性の喚起をめざす。</p>  | <p>②インターンシップ等に協力していきたいので、地域の施設等を活用してほしい。</p>   | <p>○総合的な探究の時間は円滑な取組みができた。進路選択は例年と比較し、難航することがあった。</p> <p>○インターンシップ等の体験活動への参加はコロナ前まで回復していない。</p>   | <p>○地域の施設や企業と連携し社会体験やインターンシップ等の機会を増やす。</p>   |
| 4  | 地域等との協働             | <p>①地域と共にある学校づくりを行い、広い視野を持ち、地域に貢献することによって自己有用感を育む活動を充実させる。</p> <p>②地域やPTA等との連携を図り安心・安全で信頼される学校づくりに取り組む。</p>           | <p>①地域の清掃活動に取り組み、地域に貢献する姿勢と、貢献活動を通じた自己有用感を育む。</p> <p>②地域やPTAと連携し、交通の安全と、防災意識を醸成する活動に取り組む。</p>   | <p>①地域貢献デーなどの機会を通じて、清掃活動に取り組む。</p> <p>②地域やPTAと連携し、交通の安全や、防災意識を高める活動に取り組む。</p>   | <p>①清掃活動を通じた地域貢献が実施できたか。</p> <p>②地域やPTAと連携した交通安全教育や防災教育が実施できたか。</p>  | <p>①学校周辺の清掃について、清掃活動を実施することができた。</p> <p>②生徒会本部や風紀委員会と地域が協力して自転車の事故防止活動を行った。</p>   | <p>①次年度の地域清掃活動等について早めに予定を組み、引き続き実施できるように計画する。</p> <p>②今年度はPTAの環境交通委員会と連携するまでは至らなかった。</p>  | <p>①コロナの活動制限が緩やかになった。次年度は地域の行事等に何らかの形で参加する方向で計画していただきたい。</p>   | <p>○学校周辺の清掃について、清掃活動を実施することができた。</p> <p>○生徒会本部や風紀委員会と地域が協力して自転車の事故防止活動を行った。</p>  | <p>○地域との連携をさらに高め、地域の行事や学校行事において交流を深めていく。</p>   |
| 5  | 学校管理<br>学校運営        | <p>①教員が多様な生徒の課題に寄り添い向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>②在校生や中学生、保護者や地域に向けた情報発信を充実させる。</p> <p>③事故・不祥事の根絶を図る。</p> | <p>①ICT機器を活用し、効率的な校務の推進ができるよう環境整備を図る。</p> <p>①次年度始まる、インクルーシブ教育に向けて、校務の推進ができるよう環境整備を図る</p> <p>②時宜にかなう情報発信を行うとともに、保護者、生徒に分かりやすい説明会の運営を行う。</p> <p>③事故・不祥事防止について教職員の意識を高める。</p> | <p>①ICT機器を活用し、効率的な教材開発や教科研究に努めるよう体制づくりをする。</p> <p>①HRやその他の教室や教育環境の整備を行い、インクルーシブ教育の次年度実施に向けての体制づくりをする。</p> <p>②HPやメール配信を通じて、時宜にかなった情報発信を行うとともに、保護者、生徒の目線に立った運営を行う。</p> <p>③体罰やハラスメント等の根絶に向けた研修を実施する。</p> | <p>①教材開発と教科の研究の視点から効率的な校務推進の体制づくりができたか。</p> <p>①実施に向けて教室や教育環境の整備が十分に整備できたか。</p> <p>②情報の発信は時宜にかなったものであったか。保護者や生徒の目線で運営がなされていたか。</p> <p>③事故・不祥事に対する教職員の意識が高まり、事故・不祥事ゼロを達成できたか。</p> | <p>①インクルーシブ教育の推進に向けて、環境整備や教職員及び生徒の共生教育研修を実施した。また、準備委員会が中心となって様々な校内ルールを整備した。</p> <p>②HPの見出しなどを整え、保護者、生徒が見やすいページ構成に努めた。</p> <p>③職員会議後に不祥事防止会議を行い、意識を高めた。</p> <p>③校長が綱紀の保持について、時期を図りながら、教職員に指示を徹底した。</p> | <p>①インクルーシブ教育の推進については、実際に生徒が入学してきて見えてくる問題もあるかと思うので、引き続き委員会や学年団が中心となって環境整備を行っていく。</p> <p>②保護者、生徒の目線に立つため、様々なアンケート結果を活用していく。</p> <p>③職員研修等の質を高め、教職員全体の意識の向上に努める必要がある。</p> <p>③不祥事に対しては常に自分事でもあることを教職員に理解させる必要がある。</p> | <p>①小中学校の保護者からインクルーシブ教育推進実践校へ期待の声が上がっており、地域に向けて今後も情報を伝達してほしい。</p> <p>③様々なストレスが職員の皆さんに降りかかるとは思うが、ストレスを分散し、研修等の質を高め、教職員全体の意識の向上に努めていってほしい。</p> | <p>○インクルーシブ教育の推進に向けて、環境整備や教職員及び生徒の共生教育研修を実施した。また、準備委員会が中心となって様々な校内ルールを整備した。</p> <p>○HPの見出しなどを整え、保護者、生徒が見やすいページ構成に努めた。</p> <p>○職員会議後に不祥事防止会議を行い、意識を高めた。</p> | <p>○インクルーシブ教育について、個々の特性等を正確に把握し、保護者等と情報共有を行い委員会や学年団が中心となって環境整備を行っていく。</p> <p>○アンケート等を行い、保護者の要望や生徒の実情を調査し、結果を反映させながら、学校の運営に努める。</p> <p>○不祥事を防止するために、研修等の質を高め、教職員全体の意識の向上に努める。</p> |